

# 一般質問

# 空港関連問題や都市計画問題などで論議

## 学校給食

**問** ①全国で0-157などの食中毒が問題になっているが、当町の給食センターでは食中毒対策は万全か。②当町の給食センターは建設されてから30年以上が経過し、かなり老朽化しているようだが建て替えはいつごろになるのか。③建て替える場合はセンター方式または自校方式どちらにするのか。



建て替えが望まれている学校給食センター

**答** ①夏休み中に床や内装を改修するとともに、職員の検便や調理場に入るときの消毒、調理器具の消毒などを今まで以上に厳密に行っている。先般、県から学校給食を対象に、夏季緊急点検として衛生管理チェックリストが示され、実施するよう指示された。点検を実施した結果、建物が古いため改善が必要な部分は多少あるが、おおむね良好であった。②用地取得など難しい問題もあるが、早期に建設計画を進めてまいりたい。③給食は学校教育の一環であり、自校方式も望ましいが、当町の規模では経済効率からすると難しいのが現状だと思う。今後は、他町村の新しい施設を視察するなどしながら地場産品の利用と併せて、当町に最も合ったセンター建設を検討したい。

## 成田空港問題

**問** ①成田空港は軍事目的では使用しない約束だが、それに間違いはないか確認したい。②騒音防止法では、民家防音工事の助成対象区域は75WECPNLとされているが、環境基準では70WECPNLを騒音区域として



騒音直下の中台地区にあるアウトマーカ-

いる。民家防音工事の助成対象を70WECPNLまで拡大するよう要望していただきたい。③政府・空港公団は、B滑走路完成時の飛行コースと騒音状況について、関係自治体に示すべきだと思うが、町長はどう考えているのか。④騒音防止対策事業は空港周辺対策交付金が充たされているが、超過負担があまりにも多く、町財政を圧迫している。交付率の引上げを要求する考えはないのか。

**答** ①日本の国は平和憲法を唱っており、民間空港が軍事目的で使用されることは考えられない。また、空港公団もそのような考えはないと確信している。②騒音防止法は、成田空港周辺地域だけを対象としているものでなく全国を対象としたものであるため、国の基準の見直しがされないとなし、当町の一部では75WECPNL区域指定の際、地域を分断した形で線引きのされたままになっている地区もある。線引きの見直しを引き続き要望していく。③B滑走路が完成すると、当町にも相当の影響が出てくるのは確かだ。懸念しているところでもある。しかし、完成までにはまだ時間がかかるようであり、具体化される前に協議があると聞いています。その時点で、議会と協議しながら要望していきたい。④空港騒音対策事業の実施に当たっては、できるだけ町負担の生じないよう運輸省や空港公団に補助金を要望していく。

## 行政改革

**問** 今までも自治省指導のもと行政改革が進められてきているようだが、これまでの改革では福祉や医療等社会保障の削減で

あった。今後の改革の重点と目標は何であるのかを伺いたい。  
**答** 町でも今年の1月に行政改革大綱を策定し、次のようないくつかの項目を掲げ、推進して行こうと考えている。(1)事務事業の整理合理化(2)組織機構の再編整備(3)定員管理と給与の適正化(4)職員的能力開発と資質の向上(5)行政の情報化の推進(6)町民サービスの向上(7)町議会の組織運営の合理化等、重点七項目について行政改革推進委員会の意見をききながら、平成10年までに計画推進に努めてまいりたい。

## 職員問題

**問** ①町職員は住民の要望に素早く対応すべきだと思うが、回答するまでに相当な時間がかかったり、回答してくれない職員もいたと聞く。職員教育はどのようになっているのか。②住民要望や苦情等に対する対応できる担当課を新設する考えはないか。  
**答** ①職員研修を定期的に行ったり、今年の年度初めには各職員へ公務員としてのマナー集も配布している。今後も、複雑多様化する住民ニーズにこたえられる